

## TOKYO-Bay Shorebirds Survey



東京湾シギチドリ一斉調査

寒い中、19名の方に調査に協力していただき、無事調査を終えることができました。ありがとうございました。

### ●調査結果のまとめ●

#### ●調査日・調査場所

2013年2月10日（日）  
コアタイム 11:00～12:00  
東京湾内湾 14地点

#### ●確認されたシギチドリ類

- ・10種、2097羽となりました。
- ・複数回カウントしたサイトは種のMAX値を採用。
- ・重複がないと推測されるため六郷干潟は算入しました。

#### ●確認されたシギ・チドリ LIST

ミヤコドリ  
シロチドリ、ハジロコチドリ、ムナグロ、ダイゼン  
ミコビシギ、ハマシギ、イソシギ、ダイシャクシギ、セイタカシギ  
時間外：タゲリ

#### ●確認された種類の傾向

- ・ハマシギが最も多い種類。
- ・ハマシギ、ミコビシギは、ほぼ三番瀬での確認。
- ・確認地点では、イソシギ9カ所が最多でうすく広く分布。ついでシロチドリの5カ所。
- ・小櫃川河口では、引き始めにハマシギの群れがいたが干潮時見つけられず。  
→ 干潟が広く分散もしくは他の場所へ行っているもよう。
- ・ミヤコドリは干潮時に塩浜干潟・葛西臨海公園で観察された。干潮前後して三番瀬で観察されている。→ 最も引く部分を求めて移動。

#### ●個体数の多かったサイト

三番瀬、葛西臨海公園、塩浜干潟、小櫃川河口の順

#### ●種類が多かった場所

三番瀬（6種）、葛西臨海公園（5種）、  
谷津干潟、小櫃川河口、江戸川放水路（4種）

●確認種数とサイト

表1 調査地のシギチドリ類の個体数(2013.2.10:コアタイム)

	中央防波 堤・外側 埋立地	江戸川 放水路	塩浜干潟	行徳野鳥 観察舎	東京港 野鳥公園	富津岬	小櫃川 河口	●小櫃川 河口	多摩川 河口	六郷干潟	大井 なぎさの 森	森ヶ崎 南	三番瀬	葛西 臨海公園	谷津干潟	コア タイム 合計
ハマシギ							4	367					1322	214	1	1541
ミヤコドリ			117											42		159
ミユビシギ													151			151
シロチドリ		6				9	25	54					22	10		72
ダイゼン							38						53		19	110
イソシギ		8		3	3		2	1	1	2	1			3	3	26
セイタカシギ										11					13	24
ムナグロ		8						10								8
ダイシャクシギ													3	1		4
ハジロチドリ		1											1			2
タゲリ								1								0
合計	0	23	117	3	3	9	69	433	1	13	1	0	1552	270	36	2097

## ●シギチドリの確認分布

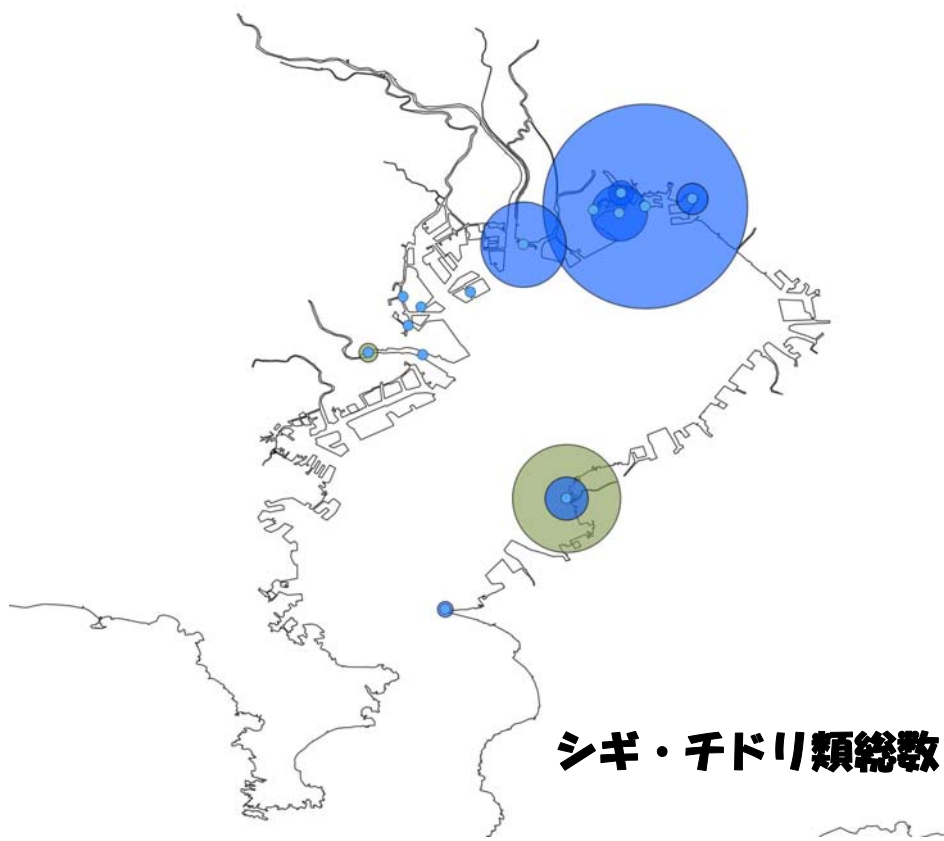


図1  
調査地のシギチドリ類  
の個体数分布(総数)

青色がコアタイム  
鶯色はコアタイム外  
小青点は調査地点

三番瀬が最大で  
1541羽。

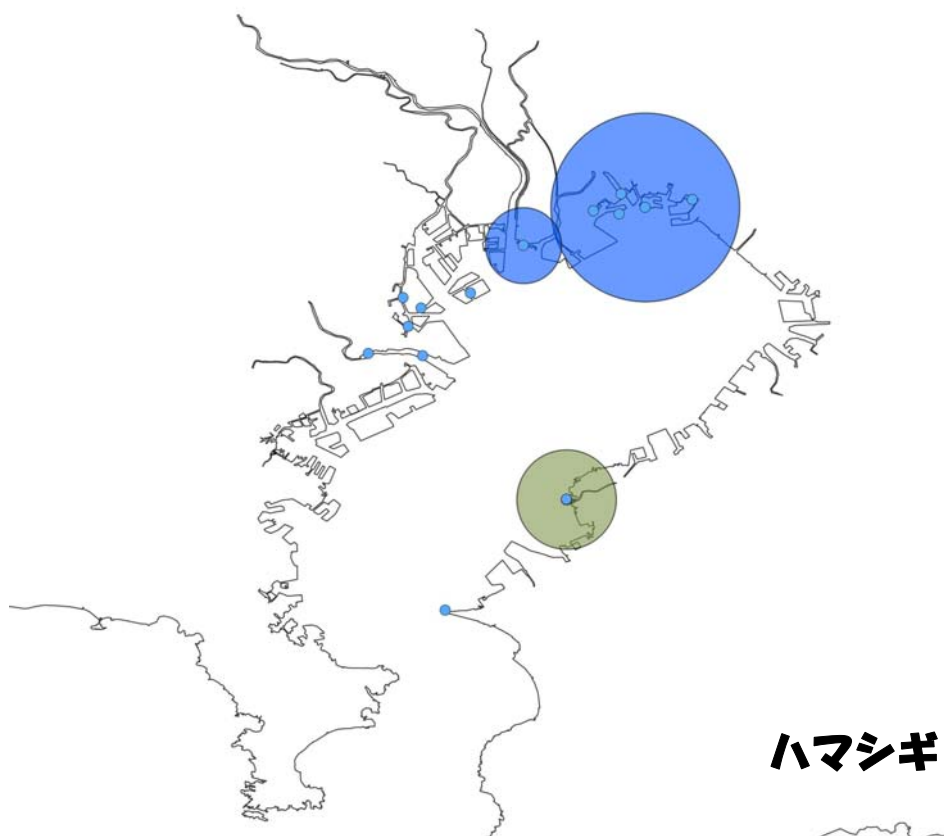
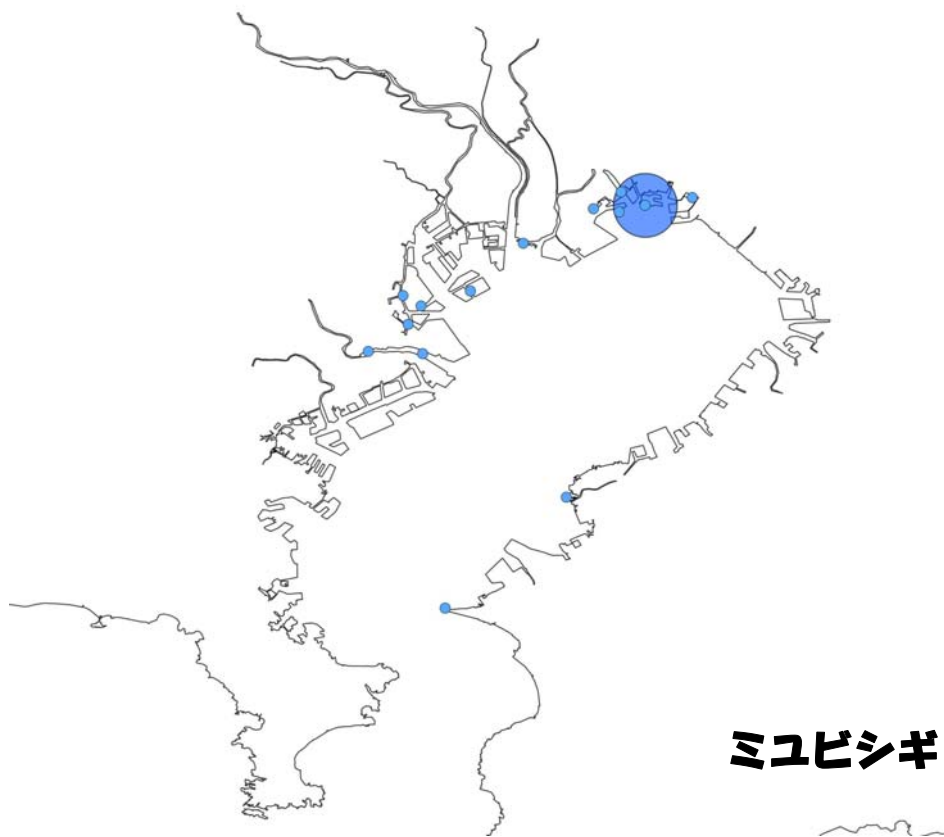


図2  
調査地のハマシギの  
個体数分布

青色がコアタイム  
鶯色はコアタイム外  
小青点は調査地点

三番瀬が最大で  
1322羽。

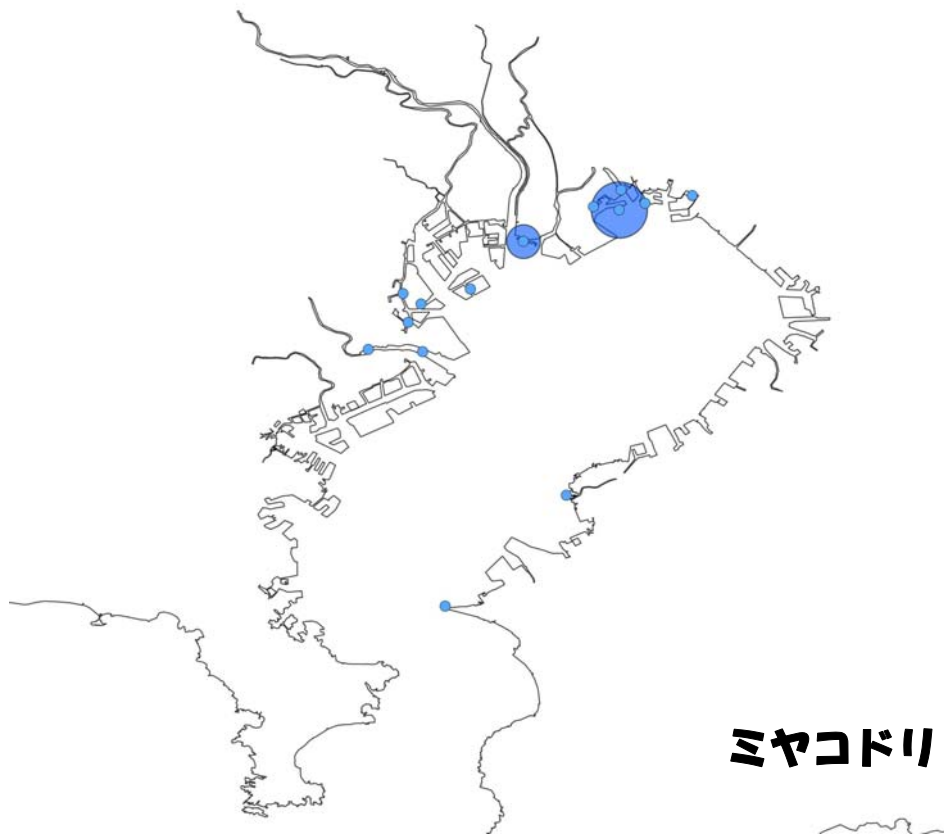


## ミユビシギ

図3  
調査地のミユビシギの  
個体数分布

青色がコアタイム  
小青点は調査地点

三番瀬のみで確認。  
151羽。



## ミヤコドリ

図4  
調査地のミヤコドリの  
個体数分布(メダイチドリ)

青色がコアタイム  
小青点は調査地点

塩浜干潟が最大で  
117羽。

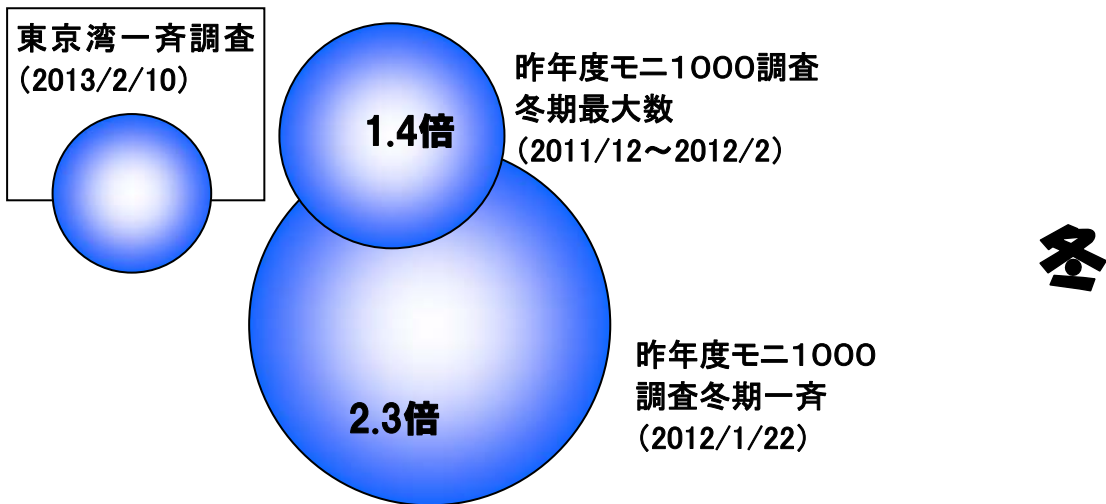


図5 東京湾一斉調査とモニタリングサイト1000調査(昨年度)との冬の結果比較

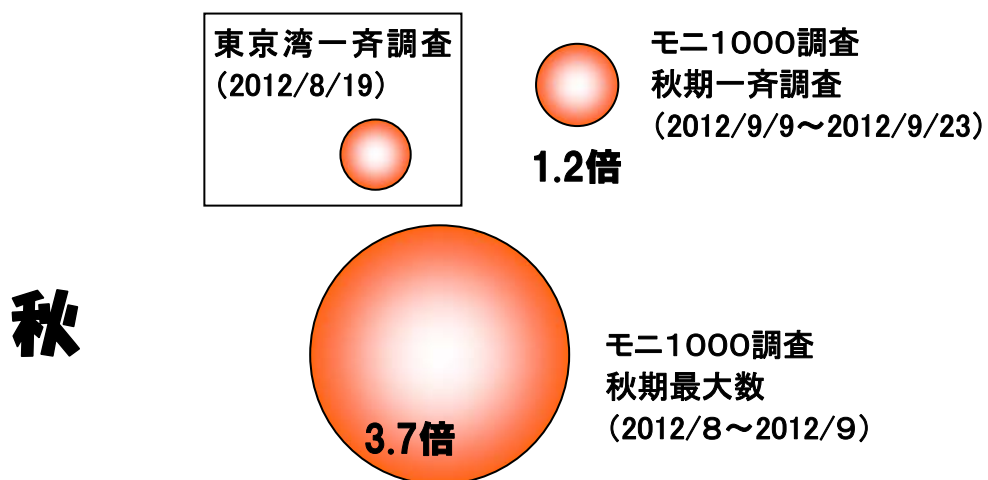


図6 東京湾一斉調査とモニタリングサイト1000調査との秋の結果比較

●モニ1000調査との比較

調査期間が長くなると、個体数が多くなり過大評価となる。

秋期は年により調査するタイミングも影響するが、冬期は真冬のデータは、年毎の比較が可能と考えられる。

(今年度のモニ1000冬期の結果がまとまりましたら、また更新します。)

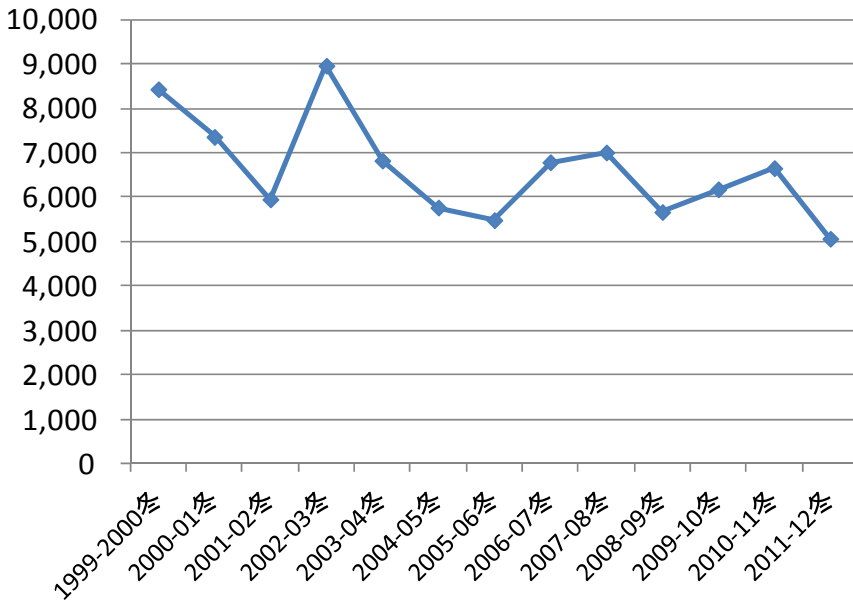


図7  
参考図：モニ1000東京湾内の  
サイト冬期最大数の推移。  
（現在、継続的に調査が行われ  
ていないサイトも含む：富津、養  
老川河口、幕張C浜、東京港貯  
木場）  
モニタリングサイト線速報から作  
成。

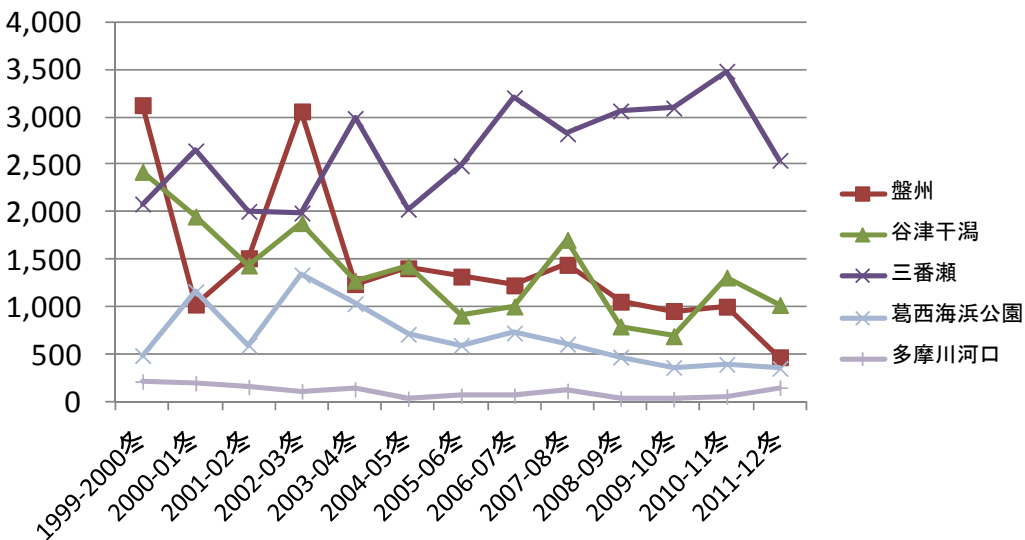


図8  
参考図：モニ100  
0参加の東京湾  
内の5サイトの冬  
期最大数の推  
移。  
モニタリングサイ  
ト線速報から作  
成。

### ●感想

東京湾全体で、約2,000羽ほど、少なく感じる。

三番瀬で見られていたミヤコドリが最干潮時、塩浜海岸で見られたなどの移動が確認できた。

小櫃川河口（盤州）のハマシギは、湾奥との移動があるのか？無視できない個体群なので気になります。

冬期は、海のレジャーによる影響は少なそうだった。

### ●今後の展開

モニ1000調査とのギャップを検討したい。

過去の記録とも比較してみたい。

調査の連絡が不行き届きでした。すいませんでした。

広報に関して工夫が必要だと感じました。

文責：守屋年史